

情報処理

教科名	商業	単位数	3単位	学科・学年	普通科 3年 アクティブ 選択科目
教科書名	なし			出版社名	なし
副教材等	ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集(2級)			出版社名	実教出版
科目目標	正しく情報やコンピュータなど機械を扱うことができる能力を養う。社会で役に立つ情報処理の能力を身につけることはもちろん、作業時間と話を聞く時間の区別など、今やるべきことに精一杯取り組むことができる力を身につける。				
到達目標 (検定目標)	日本情報処理検定3級全員取得を目指す。また、表計算ソフトの表計算を含め実践的に使う能力を身につける。				
成績評価	授業態度、実習の提出物、実技テスト、出席状況を総合的に判断する。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	4 データベースの活用 (1) ビジネス情報とデータベース	・データベースの役割とビジネスにおけるかわりについて理解する。	●	●	●	●
5	(2) データベースの利用	・リレーショナル型データベースの特徴と利用例について理解する。 ・データベースソフトウェアの問い合わせ機能を利用して、さまざまな条件に合うデータの検索・抽出・結合などの方法を理解する。	●	●	●	●
6	(3) 報告書の作成	・データベースソフトウェアの報告書作成機能を利用して、わかりやすい帳票や報告書を作成する方法を理解する。 ・リレーショナル型データベースの特徴と利用例について理解する。 ・データベースソフトウェアの構成や表の作成	●	●	●	●
7	(3) 報告書の作成	・検索・問い合わせ・画面の作成に関する知識や技術を習得する。	●	●	●	●
9	5 情報通信ネットワーク (1) 情報通信ネットワークの概要	・情報通信ネットワークの役割としくみやビジネスにおけるかわりについて理解する。	●	●	●	●

1 0	(2) 情報通信ネットワークの利用	・情報通信ネットワークを利用して情報を検索 ・収集・分析・活用する知識や技術を習得する。	●	●	●	●	
1 1	(3) 報告書の作成	・情報通信ネットワークを利用して収集した情報をワープロや表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアなどを活用して報告書を作成する知識や技術を習得する。	●	●	●	●	
1 2	6 情報化社会のセキュリティとモラル (1) 情報社会の問題点とその対応	・情報化社会の光と影について理解するとともに、その社会に正しく参画するための態度を養う。	●	●	●	●	
1	(1) 情報社会の問題点とその対応	・情報通信ネットワークにおいて、セキュリティを高めるための方法について理解する。	●	●	●	●	

【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】

- ・情報も機械も正しく丁寧に扱うことが大切。パソコン室はきれいに使うこと。
- ・話を聞くとき、作業をするときの区別をしっかりとすること。